



## 発達障害

問 稲城市保健センター

☎378-3421

生まれつき発達に凸凹があり、何でもないようなことが極端に苦手な一方、優れた能力を持っている場合も多いので周囲の理解が得られにくく、社会生活に困難さを感じている人達がいまます。発達障害を抱えている人達です。

発達障害には、対人関係、社会性、コミュニケーションに問題がある「広汎性発達障害（自閉症スペクトラム障害）」、不注意、多動性、衝動性を示す「注意欠陥多動性障害」、読み、書き、計算等の習得が全体的な知的発達に比べ著しく困難な「学習障害」などがあります。

発達障害の人達に対して理解不足による誤った介入がなされたり、支援が十分であったり、わがままであると誤解され非難されたりすると、それが本人を傷

つけ、社会生活不適應をもたらし、さらに二次障害である反抗挑戦性障害（反抗的・挑戦的な行動）、行為障害（非行）などを発症する要因になることがあります。一方、早期に適切な支援・療育を受け、できたことを褒める、具体的な指示を出す、安心できる環境を整備するなど特性に応じた対応がとられれば、社会に適應する能力を身に付けることができず、また、薬物療法が有効な場合もあります。

幼児期から、言葉がおそい、集中力がない、指示が入りにくい、こだわりが強いなど気になる行動が見られることがあります。特に問題ない場合が多いのですが、発達障害の初期サインである可能性もあります。お子さんの発達で気になるところがあれば、その悩みをひとり抱え込まず、まず身近な人に話してみましよう。保健センターでも相談に応じています。地域全体で子どもの育つ力を支え合って伸ばしていくことが重要です。

稲城市医師会

立花

泰夫